

ドイツ文化論Ⅰ

科目ナンバリング ARS-109
選択 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

ドイツの文化を芸術や文学のみならず、社会制度や政治制度も含めて、多面的に考察し、ドイツ人の考えかたや感じ方への理解を深める。

2. 授業の到達目標

現代ドイツの政治・社会・文化について、日本と比較しながら正確な理解を心がける。

3. 成績評価の方法および基準

出席30% (入退室時の学生証によるチェック、授業のまとめ作成数回)。期末テストまたはレポート70%。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

授業で紹介された人物や事項は自分で調べてノートに整理しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

出席管理システムの不正使用が見つかった場合は登録名簿から削除します。学生証を忘れた場合は欠席扱いになります。欠席許容回数は学則に従います。許容内であれば欠席数で評価は変わりません。資料の再配布はしません。ノートはルーズリーフ不可。参考書は授業内で紹介します。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション。授業の進め方、評価方法についての説明。
- 【第2回】 現代ドイツのかたち―その1
- 【第3回】 現代ドイツのかたち―その2
- 【第4回】 現代ドイツのかたち―その3
- 【第5回】 学外授業 国立西洋美術館常設展鑑賞 5月2日実施予定
- 【第6回】 現代ドイツの文化―その1
- 【第7回】 現代ドイツの文化―その2
- 【第8回】 現代ドイツの文化―その3
- 【第9回】 現代ドイツの文化―その4
- 【第10回】 現代ドイツの文化―その5
- 【第11回】 分断国家と再統一―その1
- 【第12回】 分断国家と再統一―その2
- 【第13回】 分断国家と再統一―その3
- 【第14回】 分断国家と再統一―その4
- 【第15回】 まとめとテスト。